

令和5年度

事業報告書



男性限定ボランティア講座 緑茶&コーヒー淹れ方講座

社会福祉法人

日野町社会福祉協議会

事業の総括

新型コロナウイルス感染症の出現から4年半近くなりますが、昨年の5月から感染症法上、毎年流行するインフルエンザと同じ扱いになり、対策は個人に委ねられることとなり、地域活動もしだいに再開されつつあります。

しかし、完全に新型コロナウイルス感染症は収束した訳でなく、感染対策は継続していかなければならず、対応は各自に任されているのが現状です。

日野町社会福祉協議会においては、令和3年に策定した日野町地域福祉活動計画（第4次プラン）は6年間の計画であることから、計画を遂行するには、現状と計画の検証作業を進める中で計画の進捗をはかっていくことが大事であると考えていますが。計画前半を振り返り、しっかりと自己検証をする中で、後半の3年間に臨みたいと考えております。

令和5年度も（1）地域支え合い活動の支援、（2）生活困窮者自立相談支援事業の充実、（3）在宅介護支援事業の適切な事業運営、（4）地域福祉を推進するための社協基盤の強化を重点推進事項として、事業・活動に取り組みました。

（1）「地域支え合い活動の支援」では、地域における生活課題を住民とともに考え支援するため、地域の支え合い活動を推進する生活支援コーディネーターを複数化するとともに、各地区に担当職員を配置し事業を進めてきました。西桜谷地区では、「東桜谷おしゃべり会」が行っている移動支援を参考にして「ちょいのり会」が発足いたしました。地域の方々と課題などを共有するなかで、伴走支援に取り組みたいと考えております。

また、地区社協正副会長会で行ってございました研修が、コロナ禍で実施できておりませんでした。令和5年度は久しぶりに開催することができ、県内の先進地視察研修を行いました。引き続き、各地区社協との連携を深めたいと考えております。

（2）生活福祉資金貸付事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大と同時に、生活困窮者の課題が大きくクローズアップされました。特例貸付けにより、「生活に困窮した場合は社協に相談を」という認知度が上がったこともあり、窓口での貸付相談は一定数ありますが、県社協の貸付条件等により相談者に貸付ができていない状況です。

（3）令和6年3月にひだまり事業所が勤労福祉会館に移転し、法人として一つの庁舎で事業運営ができることとなりました。介護保険事業や障害者総合支援事業などの在宅介護支援事業においては、適切な事業運営に努め、利用者本位で信頼される質の高い福祉サービスを実施しています。今後も、社協が運営する介護事業所としての役割を担っていきたいと考えています。

（4）地域福祉を推進するための社協基盤の強化では、社会福祉法人制度の見直しにより、社協として今まで以上にガバナンスの強化や透明性の確保、公益的な取り組みなどの一層の自覚をもった対応が求められています。住民の皆さまからの会費を原資にしておりますので、社協の高い公益性に照らし、運営の透明性を確保するとともに、会費徴収や利用料や補助金・委託料の確保に努め、予算の効果的・効率的な執行を行います。

1. 法人運営事業

(1) 会務の運営

役員会等の開催状況

月	日	会 議 名	協 議 事 項
4	28	第1回 評議員会	・日野町社会福祉協議会監事の選任（みなし決議 第1回）
5	24	5月定例監査	・社協、共募令和4年度事業および決算監査
6	6	第1回 理事会	（報告事項） ・日野町社会福祉協議会給与規程の一部改正について （協議事項） ・日野町社会福祉協議会評議員の推薦について ・日野町社会福祉協議会理事および監事候補者の選定 ・令和4年度日野町社会福祉協議会事業報告の承認について ・令和4年度日野町社会福祉協議会収支決算の承認について ・令和5年度第2回評議員会（定時評議員会）の招集について
	14	第1回選任・解任委員会	・日野町社会福祉協議会評議員の選出について
	27	第2回 理事会	・日野町社会福祉協議会会長および副会長の選定について
7	27	第2回 評議員会	（協議事項） ・令和4年度日野町社会福祉協議会事業報告の承認について ・令和4年度日野町社会福祉協議会収支決算の承認について ・日野町社会福祉協議会理事および監事の選任について
	31	第3回 評議員会	・日野町社会福祉協議会理事の選任（みなし決議 第3回）
	8	24	8月定例監査
11	16	第3回 理事会	（報告事項） ・職務の執行状況の報告 ・設計業務委託契約の報告 （協議事項） ・令和5年度日野町社会福祉協議会第1次資金収支補正予算 ・令和5年度第4回評議員会（臨時評議員会）の招集について
	28	11月定例監査	・第2四半期（7月～9月）事業および会計監査
12	5	第4回 評議員会	・令和5年度日野町社会福祉協議会第1次資金収支補正予算

月	日	会 議 名	協 議 事 項
2	27	2月定例監査	・第3四半期（10月～12月）事業および会計監査
3	5	第4回 理事会	（報告事項） ・職務の執行状況の報告について ・日野町社会福祉協議会給与規程等の一部改正について ・日野町社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部改正について ・日野町社会福祉協議会臨時職員就業規程の一部改正について ・日野町社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・物品購入契約の報告について （協議事項） ・日野町社会福祉協議会みんなの福祉応援基金設置規程の制定 ・令和5年度日野町社会福祉協議会第2次資金収支補正予算 ・令和6年度日野町社会福祉協議会事業計画について ・令和6年度日野町社会福祉協議会資金収支予算について ・令和5年度第5回評議員会（定時評議員会）の招集について
	27	第5回 評議員会	（決議事項） ・日野町社会福祉協議会みんなの福祉応援基金設置規程の制定 ・令和5年度日野町社会福祉協議会第2次資金収支補正予算 ・令和6年度日野町社会福祉協議会事業計画について ・令和6年度日野町社会福祉協議会資金収支予算について

役員活動

月	日	内 容
9	7, 12, 13, 14	敬老訪問、企業訪問（賛助会費の納入依頼）
11	7, 8, 9	企業訪問（赤い羽根法人募金依頼）

会長・副会長会議の開催状況

月	日	内 容
6	1	第1回 理事会について（令和4年度 事業報告、資金収支決算他）
2	27	第4回 理事会について（令和6年度 事業計画、資金収支予算他）

（2）職員の研修と人材育成

【総務・地域福祉】

①個別研修

- ア. 県社協主催研修
担当者別各種研修会

【ひだまり事業所】

- ①全体研修の実施 月1回（毎月第4木曜日）

月	日	研修内容	備考
4	27	日野町社会福祉協議会の理念・方針および事業計画について	法人研修
5	25	介護保険の提供表、予定表について/安全運転管理/消防訓練	事務所内部講師
6	22	感染症・食中毒予防について	事業所内部講師
7	27	健康教室「タオル筋トレで職場のパフォーマンス向上」	全国健康保険協会 滋賀県支部講師
8	28	虐待防止、身体拘束について	事業所内部講師
9	28	障がい者福祉について	役場福祉保健課 講師
10	26	防災教育、消火教育	事務所内部講師
11	30	「こころの健康を保つために」	役場福祉保健課 講師
12	26	緊急時対応、脳梗塞資料の配布	資料配布
2	22	障がい者虐待防止法について	事業所内部講師
3	21	B C P、身体拘束の適正化、感染症防止の指針について	事業所内部講師

②個別研修

ア. 滋賀県社会福祉協議会実施研修（滋賀県実施主体研修含む）

- ・滋賀の福祉人研修（介護人材育成研修）中堅期
- ・主任介護支援専門員研修
- ・身体拘束ゼロセミナー高齢者権利擁護（身体拘束廃止）研修
- ・要介護度改善研修会
- ・障害者虐待防止、権利擁護研修会

イ. 消防訓練

5月25日 総合訓練（消火器の取扱い説明及び初期消火訓練）

10月26日 消防訓練（防火・防災教育）

ウ. その他

- ・わたむきねっと研修会 第30回「高齢者に多い泌尿器科疾患について」
- ・わたむきねっと研修会 第31回「きこえと補聴器の話」
- ・ふれあい学習会・人権啓発推進事業（日野町・日野町教育委員会主催）
- ・町内介護支援専門員事例検討研修会
- ・東近江介護サービス事業者協議会総会&記念講演会
- ・東近江介護サービス事業者協議訪問介護部会研修会
- ・東近江発達支援センター研修会
- ・オレンジフェスタ「認知症とともに今を生きる」
- ・日野町健康づくり講演会

(3) 地域福祉権利擁護事業

認知症・知的・精神に障害があり、判断能力が十分でない人を対象に、その人の自立・自己選択・意思決定を支えるため、福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理・書類等の預かり支援を実施。

生活支援員・専門員活動件数 延べ1,826回 (R6.3末) (人)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計	R4 (参考)
0	21	16	1	38	38

(4) 広報啓発活動

広報の発行 「福祉ひの」 全戸配布 (年5回)

第182号、第183号、第184号、第185号、第186号

ホームページの更新にて公開 <http://www.hinoshakyo.or.jp/>

(5) 福祉活動関係団体等への支援

日野町民生委員児童委員協議会／日野町老人クラブ連合会／日野町身体障害者更生会／日野町赤十字奉仕団／日野町手をつなぐ育成会／日野町遺族会／東近江保護区保護司会日野地区会／日野地区更生保護女性会／日野町社会福祉施設等連絡協議会／社会を明るくする運動推進委員会

2. 地域福祉事業**(1) 住民参加による地域福祉事業****①地区社協活動**

- ・日野地区社協・東桜谷地区社協・西桜谷まちづくり協議会・西大路地区社協
- ・鎌掛地区社協・南比都佐地区社協・必佐地区社協
- ・字福社会の連絡調整等、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施

②地区社協正副会長会議

第1回 (7月10日)

内容：敬老会、各地区社協活動の情報交換等

第2回 (12月14日)

内容：地域支え合い活動について、各地区社協の情報交換等

先進地視察研修 (2月7日)

視察先：彦根市「たすけあい鳥居本」 内容：地域支え合い活動の取組みについて

③福祉協力員等研修会の開催

Y o u T u b e 配信により実施

第1部 「福祉協力員等研修会」 視聴回数 137回

第2部 「ようこそ社協劇場へ」 視聴回数 115回

④字福祉活動

- ・町内83字中53字で実施
(字福祉会：49字、未組織字：4字)

⑤ふれあいいきいきサロン

- ・町内44箇所開設

⑥サロン&カフェ交流会(11月6日)

⑦子育てサロン

- ・日野地区社協(子育てサロンパイン) 年間22回開催
- ・東桜谷地区社協(子育てサロンさくらっこ) 年間20回開催
- ・西大路地区社協(西大路ちびっこサロン) 年間19回開催
- ・南比都佐地区社協(仲よし会) 年間27回開催
- ・必佐地区社協(必佐子育てひろば) 年間24回開催

⑧配食サービス(地区社協)

- ・西桜谷地区 8回実施(延べ配食数300食)

⑨児童遊園地整備助成 2箇所(中道、下駒月)

⑩「命のバトン事業」の啓発と推進 啓発DVDの作成

- ・民生委員・児童委員による啓発・点検・見守りの推進
- ・地区社協や字福祉会への協力と呼びかけ福祉協力員への見守り等の依頼

【命のバトン配付数】 (令和6年3月末現在)

地区	日野	東桜谷	西桜谷	西大路	鎌掛	南比都佐	必佐	合計
世帯数	704	194	124	234	57	441	516	2,270

⑪敬老会の開催 (年齢75歳以上) [単位：人]

地区名	日野	東桜谷	西桜谷	西大路	鎌掛	南比都佐	必佐	合計
実行委員数	110	100	75	86	34	100	105	610
参加者数	1,148	373	265	410	169	400	922	3,687

※東桜谷地区および必佐地区においては、各字単位で開催

⑫「心ふれあう福祉のつどい2023」の開催

日時：令和5年11月5日(日) 9時30分～

場所：日野町町民会館「わたむきホール虹」大ホール

参加者：180人

テーマ：「広げよう 地域のふれあい 支えあい」

オープニング：ひのたに太鼓 青龍による演奏

式典・表彰：日野町社会福祉協議会会長表彰・感謝状

つなはぐ活動の発表

小井口YK倶楽部の取り組み

西桜谷地区まちづくり協議会「配食サービス」の取り組み

福祉団体活動等の展示：令和5年12月6日(水)～

令和5年12月21日(木)

展示場所：日野町立図書館展示コーナー

展示団体 : 日野町健康推進協議会、日野町手をつなぐ育成会、福祉教育推進校
西桜谷まちづくり協議会、日野地区、西大路地区、鎌掛地区、南比
都佐地区、ボランティア連絡協議会

⑬日野町フードドライブ+αの実施

子育て応援事業として実行委員会制により実施

日時 : 令和5年7月16日(日) 9時00分～12時00分

参加者 : 207人、88世帯

日時 : 令和6年2月18日(日) 9時30分～11時00分

参加者 : 259人、107世帯

(2) 心配ごと相談事業

①よろず相談・法律相談事業

住民の暮らしにかかわる困りごと等の解決に向け、民生委員児童委員活動と連携しながら側面的に支援し、必要に応じて他機関を紹介する橋渡しの相談所として開設。

また、法律的な専門知識が必要な困りごとは、弁護士による相談所を開設。

○相談員研修(9月15日)

講師: 龍谷大学 扇田 宗親氏

内容: 「相談を受けるときの心構えや相談者への接し方」について

○よろず相談所運営状況

開設日

- ・法律相談(予約制) 毎月第1月曜日 午後1時30分～午後4時 勤労福祉会館
- ・よろず相談 毎週木曜日(第3木曜日除く) 午前9時～正午 勤労福祉会館

○相談員の構成

- ・法律相談員 大津市京町法律事務所 伊藤 慧 弁護士、稲田 智昭 弁護士
- ・よろず相談員 12名(別に常設相談員として社協職員1名)

○相談内容別件数

相談内容	相談別件数			計	相談内容	相談別件数			計
	法律	よろず	常設			法律	よろず	常設	
生計	2	0	0	2	財産	20	3	1	24
年金	0	0	0	0	事故	1	0	0	1
職業・生業	2	0	1	3	児童福祉	1	0	0	1
住宅	6	0	1	7	教育・青少年	0	0	0	0
家族	10	4	2	16	障害者福祉	1	0	1	2
結婚	0	0	0	0	父子母子寡婦福祉	1	0	0	1
離婚	4	1	0	5	高齢者福祉	3	0	0	3
健康	0	0	0	0	苦情	0	0	0	0
医療	1	0	0	1	その他	2	0	0	2
精神・保健	1	1	0	2					
人権・法律	7	0	0	7	合計	62	9	5	76

(3) 生活困窮者自立相談支援事業

生活に困りごとや不安を抱えている人に対し、支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

○相談支援

- ・相談受付件数 31件
- ・プラン作成件数 5件
- ・支援調整会議 12回

○生活困窮者等支援

- ・ひのみんなの食堂MAP（子ども食堂情報マップの作成 全戸配布）
- ・子ども食堂用玄米保冷庫の購入（つどえばに設置）

(4) 地域生活支援事業

①在宅介護支援事業

○ふれあい通所サロン事業（金曜サロン）

実施日：毎週金曜日

場 所：日野町勤労福祉会館

対 象 者：地域包括支援センターで選定された高齢者および身体障がい者
(利用人数 10人)

利用者負担金：1回 1,000円

実施回数：47回 延べ利用者数：278人

○在宅介護者のつどい 令和5年11月27日

交流会およびフォトフレーム作り・音楽鑑賞

参加者：6人



在宅介護者のつどいで出来上がったフォトフレーム

○ほっこりカフェ（10回）

基本、偶数月第3木曜日、奇数月第2水曜日（8月除く）13時から15時介護者が一時的に介護から離れ、心身のリフレッシュを図るとともに、介護者同士の情報交換、交流を目的とする。

内 容：小物作り、絵手紙を楽しもう、おしゃべりカフェ他

参加者：延べ35人

3. ボランティアセンター事業

ボランティア活動への支援を行い、育成に努める。

(1) ボランティア連絡協議会への支援

ボランティア連絡協議会 会議開催 3回

(2) 子育て支援

- ・おもちゃ図書館の開設 日野町保健センター ホール
開設ボランティア「かみふうせん」 月2回（第2・第3金曜日）
年22回開催 延べ参加者数 238人

(3) ボランティア講座の開催

- ・男性限定「お茶&コーヒー淹れ方講座」
参加者：9名 11月15日、12月11日、12月25日

(4) ボランティア団体との交流

- ・三重県いなべ市・日野町ボランティア団体連絡協議会交流会
参加者：26名 12月4日



三重県いなべ市との交流会の様子

4. 生活福祉資金貸付事業（実施主体：滋賀県社会福祉協議会）

既存の制度では対応しきれない制度の狭間の問題や、生活困窮等の新たな福祉課題に対応するため、住民が安心して生活していけるようセーフティネット機能の充実・強化を図る。また、新型コロナウイルス感染症により失業、減収した世帯を対象に実施した特例貸付の借受人に対するフォローアップ支援を行った。

生活福祉資金貸付件数

総合支援資金	相談	3人	貸付	0人
福祉資金				
緊急小口資金	相談	22人	貸付	0人
福祉費	相談	10人	貸付	0人
教育支援資金	相談	3人	貸付	0人
生活復興支援資金	相談	0人	貸付	0人
不動産担保型資金	相談	0人	貸付	0人
臨時特例つなぎ資金	相談	0人	貸付	0人

5. 善意銀行運営事業

住民の皆さまから善意のこもった金銭や物品をお預かりし、その善意をさまざまな地域福祉事業で役立てようとするもの。



善意銀行にご寄附をいただきました。

(1) 現金預託 払い出し

預託

用途	金額	備考
預託 : 24件	441,448円	一般寄付 416,448円 指定寄付 25,000円
備品使用料	28,000円	
小口資金返金	0円	
利息	78円	
合計	469,526円	

払い出し

用途	金額	備考
生活援助	50,449円	生活困難者食品援助、精米代、米袋代他
住宅災害見舞金	40,220円	見舞金3件+振込手数料(220円)
貸出備品修繕費	11,000円	貸出備品、点検・清掃代
歳末助成事業	94,860円	精米代、米袋代
ボランティアセンター事業	51,000円	ボランティアグループ助成
緊急連絡装置設置	0円	一人暮らし高齢者等ベル設置
子育て支援事業	30,000円	精米代、米袋代
合計	277,529円	

(2) 物品預託 払い出し

預託 : 40件

預託	件数	払い出し先
食品	35	町内福祉施設・要援護者・子育て支援事業
その他	5	町内福祉施設・子育て支援事業

(3) 善意銀行備品等の貸し出し

①福祉機器 ・車いす (貸出回数 5 6 件) ・ベッド (利用回数 4 件)

②イベント機器 使用料：28,000 円 (貸出回数 56 回×500 円)

機器名 (保有台数)	貸出数	機器名 (保有台数)	貸出数
ポップコーン機 (1 台)	4 回	かき氷機 (2 台)	10 回
たいやき機 (1 台)	1 回	綿菓子機 (2 台)	9 回
やきそば鉄板 (5 台)	12 回	たこやき機 (1 台)	1 回
炊飯器 (5 台)	12 回	焼き鳥機 (1 台)	0 回
鍋 (4 個)	0 回	もちつき臼 (1 式)	3 回
コンロ (2 台)	4 回	サンタ衣装 (2 組)	0 回

③サロン用貸出備品

用品名 (保有台数)	貸出数	用品名 (保有台数)	貸出数
唱歌カルタ (1 組)	2 回	四字熟語合わせ (1 組)	2 回
じゃんけん・らくらく将棋 (2 組)	1 回	十二支ビンゴ (2 組)	2 回
魚魚あわせ (1 組)	1 回	室内ペタンク (2 組)	0 回
シャッフル&ゴルフ (2 組)	1 回	スカットボール (1 組)	6 回
釣りっこ (1 組)	5 回	輪投げ (1 組)	5 回
コミュニケーション麻雀 (1 組)	1 回	手裏剣ダーツ (1 組)	1 回
思い出カルタⅢ	1 回	たいこ相撲	1 回

(4) 住宅災害見舞金

- 一部損壊 (延べ床面積の 10%以上 30%未満)
 - 5,000 円×2 件 10,000 円 (令和 5 年 9 月大雨による床下浸水)
 - 30,000 円×1 件 (令和 5 年 1 0 月住宅火災)

(5) 日野町社会福祉協議会子育て支援事業

- 低所得のひとり親家庭の生活の安定と
児童福祉向上のため、白米を給付し、子育てを支援する。
白米 5 k g ×66 世帯



6. 勤労福祉会館管理受託事業

指定管理者として会館の管理運営ならびに施設および設備の管理を適正に行った。
施設利用者に向けて、使用後のアルコール消毒と使用簿記入の徹底を図った。

(利用団体数 延べ807団体 利用人数 延べ8,455人 利用料 64,540円)

7. 共同募金配分金事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組む。

赤い羽根共同募金の配分(配分金 1,198,870円)

○高齢者福祉活動費 計161,572円

敬老訪問事業(275件 107,778円)、百歳祝い(5件 27,500円)、

ひとり暮らし高齢者防火訪問(16件 26,294円)

○障がい児・者福祉活動費

放課後クラブ「ともだち」活動助成(40,000円)

○児童・青少年福祉活動費

こどもの日の行事助成(7件 100,000円)

○住民全般福祉活動費 計897,298円

児童遊園地整備助成事業(2件 93,000円)、福祉ひの発行(85,900円)、

地区社協配食サービス事業助成(1地区 40,000円)、

福祉教育推進校活動助成(7件 139,692円)、

子育てサロン活動助成(5件 54,000円)、

いきいきサロン活動助成(35件 340,000円)、

こんにちは赤ちゃん訪問事業(43,056円)、

地域活動貸出用備品整備(ボッチャ51,600円、ラダーゲッター他2点50,050円)

《こどもの日の行事助成》

地区名	行事名	開催場所	月	日	参加者 (役員含)
日野	日野地区子ども大会	日野公民館	5	7	266人
東桜谷	東桜谷地区子どもの集い	東桜谷公民館	5	14	67人
西桜谷	子ども大会	西桜谷公民館	5	7	28人
西大路	西大路子ども大会	西大路小	5	14	82人
鎌掛	歴史清掃ハイキング他	鎌掛公民館他	2	25	57人
南比都佐	南比子ども大会	南比都佐小 体育館	5	5	82人
必佐	第73回必佐地区子ども大会	必佐小グラウンド	5	28	406人

《町社協福祉教育活動助成》

学校名	活 動 内 容
日野小学校	支援学級の友だちのことを知ろう、一人暮らしのお年寄り宅を訪問「ほのぼの交流」、副籍交流、障害に関する理解を深めよう計5回（視覚障害について、聴覚障害について、障害者施設訪問、講演）、赤い羽根共同募金活動、一日入学（異学年交流）、ペットボトルキャップを集めよう
桜谷小学校	一人暮らしのお年寄りとの交流（季節の便り）、点字体験、小園交流、人権学習会、募金活動（震災募金、赤い羽根共同募金、プルトップ集め）、給食週間、支援学級の友だちのことを知ろう、お年寄りと一緒に遊ぼう
西大路小学校	人権集会（LGBTQについて）、総合（バリアフリーについて）、ジャンボ年賀状、特別支援（学習教材や環境の充実を図る）、募金活動（ユニセフ募金、能登半島地震募金）
南比都佐小学校	誉の松との交流、保幼小授業体験会、理解教育（特別支援学級や通級教室で学んでいる児童への理解を深める）、校内人権週間、福祉学習（障害者体験）
必佐小学校	高齢者・障害者の方への理解学習、障害に対する理解学習（視覚障害、聴覚障害、身体障害、認知症）、前向きに生きる心の育成（ボッチャ体験、元パラ選手の講演）、身体障害や車イスに対する理解学習（車イス体験）、特別支援学級との陶芸体験
日野中学校	ペットボトルキャップ回収、募金活動（能登半島地震救援募金、赤い羽根共同募金）、お正月の贈り物、花いっぱい運動
日野高校	点字体験授業に向けての備品購入

・福祉教育推進校担当者会議（町内5小学校と中学校・高校）開催日：6月13日

8. その他委託事業

(1) 介護予防事業（町受託事業）

高齢者に対し、認知症や要介護状態にならないための介護予防サービスを提供する。このことにより、在宅高齢者に対し、生きがいや健康づくりを進め、寝たきり予防のための知識の普及や啓発等により、健やかで活力ある地域づくりを推進する。

①日野町介護予防普及啓発事業（「おたっしや教室」開催等）

対象者：各地区の一般高齢者（概ね60歳以上）

会 場：各地区集会所等

内 容：転倒骨折予防に効果のある体操等を実施しながら、身近な地域での仲間づくりを進める。

実施地区：（おたっしや教室）

松尾3区

（おたっしやフォーアップ教室） 村井1区・大窪2区・大窪5区御舎利町・大窪5区富久寿会・小井口・木津・上野田・川原・蓮花寺・野出・西大路1区・仁本木・鎌掛地区・下駒月・内池西・猫田・十禅師・豊田・湖南サンライズ・東桜谷地区・南比都佐地区・中山東

実施回数および参加者数：(おたっしや教室) 3回 88人
 (おたっしやフォローアップ教室) 86回 703人

②おたっしや教室サポーター養成講座の開催

開催日：8月31日、9月7日、9月14日、9月21日、9月28日
 10月5日、10月12日、10月19日
 参加者：9名

③認知症予防「脳いきいきゲーム」

○「脳いきいきゲームリーダー養成講座」

開催日：7月12日、7月19日、7月26日
 場 所：勤労福祉会館
 内 容：認知症予防ゲームの理念及びゲームについての講義・実技を学ぶ
 参加者：11人（内修了生9人）

○「脳いきいきゲーム」リーダー スキルアップ講座

講座対象者：H28・H29・R元・R2・R3・R4・R5 年度修了生と地域で実践しているリーダー

- ・ 開催日：令和5年9月27日
- 場 所：勤労福祉会館
- 参加者：19人



(2) 日野町地域支え合い事業

①日野町地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）の設置

介護予防や地域における居場所づくり、生活支援活動の連携と地域包括ケアシステムの基礎となる「地域づくり」を担う「地域支え合い推進員」（生活支援コーディネーター）を配置。（平成28年度から継続）

主な活動内容：地域資源の把握・整理、出前講座の実施、広報での事例紹介、地域ケア会議との連携、協議体への参画、町事業（オンデマンド交通、デジタル活用支援に関する会議）への協力、日野高校への協力

②あたらしいつながりのはぐくみ手帳 part2 作成 3月15日全戸配布

③移動支援情報交換会 12月14日

- ・おしゃべり会、ちょいのり会、小井口YK倶楽部

④東桜谷おしゃべり会への支援

- ・東桜谷おしゃべり会全体会（全4回）・分科会の開催支援（1回）・移動支援情報交換会（1回）

- ・視察研修受入れ5ヶ所（近畿厚生労働局、近江八幡市老蘇地区、岐阜県垂井町、宮崎県社協、関西STS連絡会）
- ⑤新たな地区での支え合い活動の推進に向けた働きかけ
 - ・西大路地区への働きかけ 地区社協3役との打ち合わせ・・・全5回
西大路地区支え合い研修会の協力
2月21日
 - ・西桜谷ちよいのり会への支援
運転ボランティア講習会6月27日
西桜谷ちよいのり会出発式 8月1日
定例会4回



9. 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

《居宅介護支援サービスひだまり》

住み慣れた居宅において出来るだけ自立した生活が営めるよう、ご本人、家族の希望や状況をおうかがいし、心身の状態を考慮しながら、必要なサービスを相談し、介護支援計画を作成、サービス提供機関との連絡・調整を行いました。

【利用実績】

() は前年度

区分	延べ利用実人員	月平均
介護給付	990人 (1,010人)	82.5人 (84.2人)
予防給付	47人 (73人)	3.9人 (6.1人)
計	1,037人 (1,083人)	86.4人 (90.3人)

(2) 訪問介護事業（訪問介護相当サービス事業）

《ホームヘルプステーションひだまり》

利用者が居宅において自立した生活が営めるよう訪問介護員（ホームヘルパー）が居宅を訪問し、介護サービスの提供を行いました。

【利用実績】

() は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用回数
介護給付	845人 (922人)	11,370回 (12,671回)
予防給付	88人 (127人)	446回 (552回)
計	933人 (1,049人)	11,816回 (13,223回)
月平均	77.7人 (87.4人)	984.6回 (1,101.9回)

(3) 地域密着型通所介護事業 (通所介護相当サービス事業)

《デイサービスひだまり》

令和6年3月31日 廃止

(令和2年6月30日(水) デイサービス最終日として、7月1日から休止)

10. 障害者総合支援事業

《ホームヘルプステーションひだまり》

障害者自立支援支給決定を受けた者(児)が居宅において日常生活ができるよう、訪問介護員を派遣し、入浴等の介護、家事援助等必要な便宜を供与する。

(1) 居宅介護事業

【利用実績】 () は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
利用数	149人 (135人)	1,511人 (1,364人)
月平均	12.4人 (11.3人)	125.9人 (113.7人)

(2) 同行援護事業

【利用実績】 () は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
利用数	0人 (2人)	0人 (2人)
月平均	0人 (0.2人)	0人 (0.2人)

11. 在宅生活支援事業

(1) 障害者移動援護事業 (町からの委託事業)

《ホームヘルプステーションひだまり》

屋外での移動に制限のある障がい者が外出のための支援。

【利用実績】 () は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
利用数	0人 (0人)	0人 (0人)
月平均	0人 (0人)	0人 (0人)

(2) 福祉輸送事業

《ホームヘルプステーションひだまり》

視覚障害のある方に対し、介護給付費支給決定の内容に基づき、訪問介護員が障害福祉サービスと一体としての輸送サービス支援。

【利用実績】

() は前年度

区分	延べ利用実人員	延べ利用人数
利用数	0人 (2人)	0人 (2人)
月平均	0人 (0.2人)	0人 (0.2人)

12. その他の事業等

(1) 日野町総合防災訓練への参加

日 時：令和5年9月3日(日) 場 所：必佐地区(必佐小学校G周辺)

内 容：災害ボランティアセンター設置運営訓練

13. その他の団体への支援

(1) 民生委員児童委員活動の充実

○総会 令和5年5月26日(金)

○県民児協連合会蒲生支部全員研修

年1回

○代表委員会 毎月1回

民児協部会研修
(伊勢防災センター)



《各地区の活動》

地区	活動内容
日野地区	地区会、小学校との懇談会、日野小学生との「ほのぼの交流」、歳末たすけあい訪問、地区役員会、子育てサークル支援、敬老会、
東桜谷地区	地区会、敬老会(各字)、「ふれあい・ささえ愛・つなぎ愛」、小学校・こども園訪問、歳末たすけあい活動
西桜谷地区	地区会、地区社協配食、友愛訪問、歳末たすけあい訪問、あいさつ運動
西大路地区	地区会、地区社協福祉関係者研修会、敬老会、小学校教職員との懇談会、地区社協3役会、子育てサロン支援、
鎌掛地区	地区会、日野小学生との「ほのぼの交流」、歳末たすけあい訪問、地区社協「世代間交流のつどい」、研修会、自主防災会議
南比都佐地区	地区会、歳末たすけあい訪問、敬老会、研修会、小学校懇談会、子育てサロン支援
必佐地区	地区会、敬老会(各字)、子ども見守り会、福祉協力員各字代表者会議、子育てサロン支援

《民生委員児童委員活動状況》

内容別		件数	分野別		件数
相談・支援件数	在宅福祉	171	分野別	高齢者に関する事	766
	介護保険	26		障害者に関する事	72
	健康・保健医療	77		子どもに関する事	477
	子育て・母子保健	33		その他	465
	子どもの地域生活	79	計		1,780
	子どもの教育・学校生活	183	その他の活動件数	調査・実態把握	763
	生活費	20		行事・事業・会議への参加協力	2,001
	年金・保険	0		地域福祉活動・自主活動	3,104
	仕事	0		民児協運営・研修	1,862
	家族関係	50		証明事務	110
	住居	15	訪問回数	要保護児童の発見の通告・仲介	7
	生活環境	47		訪問・連絡活動	4,399
	日常的な支援	340		その他	1,355
	その他	739	連絡調整	委員相互	1,182
計	1,780	その他の関係機関		1,173	
			活動日数		9,322

(2) 日本赤十字社滋賀県支部日野町分区事務

日赤会費の募集 一般会費 3,367件 2,160,290円

(3) 日野町赤十字奉仕団活動

委員会の開催(6回)、各分団による奉仕(年間91回、のべ383人が町内福祉施設等で奉仕)、赤十字奉仕団東近江地区研修会

ワクチン接種会場奉仕(6月～12月)

町民駅伝大会炊出し協力、県外奉仕(松尾大社)95人、献血ブースの手伝い(5件)

災害義援金への協力 12件

- 令和5年5月能登半島地震災害義援金
- 令和5年度台風2号等大雨災害義援金
- 令和5年6月30日からの大雨災害義援金
- 令和5年7月7日からの大雨災害義援金
- 2023年アメリカ・ハワイ火災救援金
- 2023年モロッコ地震救援金
- 2023年リビア洪水救援金
- 令和5年台風13号災害義援金
- 2023年アフガニスタン地震救援金
- イスラエル・ガザ人道危機救援金
- NHK海外助け合い
- 令和6年度能登半島地震災害義援金

(4) 日野町共同募金委員会

①赤い羽根共同募金 10月1日から12月31日まで

目標額 2,260,000円 実績額 2,069,559円

<実績額内訳>

(単位：円)

種別	戸別	街頭	法人	学校	職域	イベント	その他	合計
実績額	1,140,570	16,306	533,000	20,424	251,488	11,910	95,861	2,069,559

②歳末たすけあい募金 12月1日から12月31日まで

目標額 1,270,000円 実績額 1,173,162円

<実績額内訳>

(単位：円)

種別	戸別	街頭	法人	学校	職域	イベント	その他	合計
実績額	1,166,302	—	—	—	—	—	6,860	1,173,162

③歳末たすけあい募金の配分 (配分金 1,205,000円)

○歳末事業費 計464,000円

歳末たすけあい事業 (7件 140,000円)

歳末支え合い事業 (35箇所 648人 324,000円)

○歳末援助費 計741,000円

歳末たすけあい訪問事業【障がい児・者世帯 (42世帯 126,000円)、

高齢者世帯 (162世帯 486,000円)、ひとり親世帯 (32世帯 96,000円)

その他 (11世帯 33,000円)】

14. その他

【総務・地域福祉】

(1) 日野町福祉施設等連絡協議会への協力 (日野町内福祉施設9施設1社協)

日野町内の社会福祉施設相互の交流、連絡調整を図るとともに、施設と地域の連携を密にし、施設の充実、地域福祉の向上に寄与することを目的とするもの。

- ・会議開催 6月23日 ひのたに園
- ・交流研修会 2月29日 ナチュレ日野・イチゴ狩り

(2) 第73回社会を明るくする運動

日野町推進委員会 5月29日 林業センター

街頭啓発 7月3日 町内10ヶ所

日野大会 7月7日 林業センター

【ひだまり事業所】

- (1) 新型コロナウイルス感染予防対策
 - 職員および利用者の検温およびマスクの着用
 - 外来者の施設内への入室制限
 - 施設の設備の常時消毒の実施
 - 感染予防用衛生用品の確保
 - 高齢者施設等従事者への抗原検査の受検（県事業）
- (2) 介護実習生の受け入れ
 - 大学側の都合により中止
- (3) 介護保険 第1号訪問事業 指定更新
 - 年月日 令和6年4月1日
 - 有効期間 令和6年4月1日から令和12年3月31日
- (4) 介護サービス情報の公表
 - 公表 令和6年1月 厚生労働省および滋賀県のホームページ
- (5) 障害福祉サービス情報の公表
 - 公表 平成6年1月 厚生労働省および滋賀県のホームページ
- (6) 介護保険サービスの自己評価の公表
 - 公表 令和6年3月
 - 滋賀県東近江健康福祉事務所、日野町長寿福祉課、事業所内閲覧提供
- (7) 障害福祉サービスの自己評価の公表
 - 公表 令和6年3月
 - 滋賀県健康福祉部障害福祉課、滋賀県健康福祉事務所、日野町福祉保健課、事業所内閲覧提供
- (8) 消防用設備等法定点検
 - 8月29日（火） 機器点検 全てにおいて消防法に適合
 - 2月6日（火） 総合点検 全てにおいて消防法に適合
 - 日野消防署へ消防用設備等法定点検報告書を提出